

令和4年3月22日

連携による体験活動の推進、子ども食堂への取組の充実・深化

独立行政法人国立青少年教育振興機構と

総合警備保障株式会社との連携と協力に関する

包括協定締結式のご案内

独立行政法人国立青少年教育振興機構（以下、当機構）は、自然体験活動等の促進を通じた健全な青少年の育成に資するため、総合警備保障株式会社（以下、ALSOK）との連携と協力に関する包括協定を締結することとなり、下記のとおり締結式を行いますのでお知らせします。

- 1 日 時 令和4年3月25日（金） 16時30分～17時30分（予定）
- 2 場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟2階 イベントホール
（東京都渋谷区代々木神園町3-1）
- 3 締 結 者 総合警備保障株式会社 代表取締役社長 青山 幸恭
独立行政法人国立青少年教育振興機構 理事長 古川 和
- 4 次 第 開会～挨拶～協定書署名～記念撮影～質疑応答～閉会
- 5 背 景

当機構は、全国各地に自然あふれる27の地方施設と東京都に1964東京オリンピック大会のレガシーを受け継ぐ国立オリンピック記念青少年総合センターの計28の教育施設を有し、健全な青少年の育成に向けた自然体験活動等の促進を図る体験の場と機会を提供しています。そうした当機構の取組みと、ALSOKにおける「社会の安全安心の確保」に最善を尽くすことを目的とした各種社会課題に対する取り組みは非常に親和性が高いことから、今後、相互に連携し、社会や青少年の課題解決に向けて取り組んでいくこととなりました。

なお、当日は元帝国ホテル総料理長で子ども食堂に関わりながら食育活動を推進している田中健一郎シェフにもご賛同いただき、ALSOKが害獣駆除で捕獲したイノシシ肉のジビエ料理も披露します。これは、ALSOKが検討している青少年への命の大切さの意識涵養、食品ロス削減の観点を踏まえた防災備蓄食品の活用による子ども食堂への支援、当機構が進める子ども食堂を必要とする家庭への本物体験の場と機会の積極的提供とも大変関係性が高いと認識しています。今後とも両者連携の下、田中シェフを始め多様な専門家も交え、全ての子どもを取り残さずに体験の場と機会を提供してまいります。

6 連携事項

- (1) 青少年の体験活動を通じたSDGsの達成に貢献すること
- (2) 子どもたちが「命の大切さ」を意識するきっかけ作りの場や機会の提供に関すること
- (3) 防災体験を通じた、自助・共助・公助の観点からの災害対応力の向上に関すること
- (4) 安全・安心な生活に資するIoT技術体験に関すること
- (5) スポーツの振興に関すること
- (6) 持続可能な地域社会形成への貢献に関すること 他

【問い合わせ先】

独立行政法人国立青少年教育振興機構 総務企画部 広報課 広報企画係
住所：〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
TEL：03-6407-7744 E-mail：honbu-kouhoukikaku@niye.go.jp